



LIVエンジニアリング株式会社

2018 年度 環境経営レポート

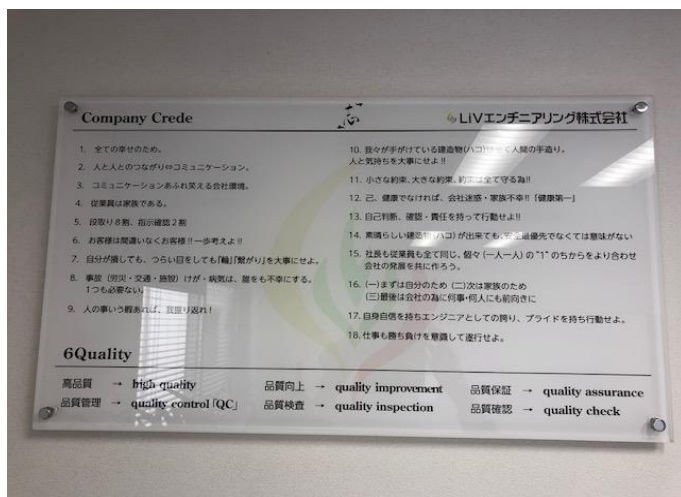
(対象期間 2018 年6月1日～ 2019 年5月31日)



作成日： 2019年7月10日
更新日： 2019年12月11日

目 次

項 目
環境経営方針
組織の概要
事業・製品の紹介
環境経営組織図及び役割・責任・権限表
主な環境負荷の実績
環境経営目標及びその実績
環境経営計画の取組結果とその評価
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無
緊急事態対応訓練
代表者による全体の評価と見直し・指示
これまでの環境活動の紹介



環境経営方針

<環境経営理念>

近年、地球の温暖やボーダーレスの大気汚染等の問題が顕著になっており、美しい地球と安全で住みやすい地域環境を次世代に残すため、本業である電気設備工事業の設計・施工を通じて、二酸化炭素と廃棄物排出量の削減及び資源の有効活用に全社員・協力業者一丸となり、積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業所及び建設現場における電力と化石燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事業所及び建設現場において、一般及び産業廃棄物の排出を抑制すると共に分別と再生利用を推進します。
4. 事業所及び建設現場における水使用量を削減します。
5. 事務用品のグリーン購入と資材・原材料のグリーン調達に努めます。
6. 電気設備工事の設計、施工にあたり省エネ照明器具をはじめとする省エネ機器の使用を提案し、事業活動に伴う環境改善に努めます。
7. 地域での環境保全活動に積極的に参加します。
8. 環境に配慮した施工方法の提案・ECO商品の資材の使用に努めます。



制定日：2015年7月10日

改定日：2019年3月20日

代表取締役社長

高橋剛志

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
LiVエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 橋本 剛志
- (2) 所在地

本社・事務所 〒664-0022 兵庫県伊丹市中野東3丁目130番

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工事統括部長 山本 拓一 TEL: 072-785-9114
担当者 総務事業部 滝本 義秀 TEL: 072-785-9114

- (4) 事業内容

電気設備工事、電気通信工事、空調設備工事、電信電話架設工事、
防災・防犯設備工事、管工事の設計及び施工

- (5) 事業の規模

売上高 598 百万円

		本社・事務所
従業員	名	18 名
延べ床面積	m ²	231 m ²

- (6) 事業年度 6月1日～5月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: LiVエンジニアリング株式会社
対象事業所: 0
本社・事務所
0

対象外: なし

活動: 電気設備工事、電気通信工事、空調設備工事、電信電話架設工事、
防災・防犯設備工事、管工事の設計及び施工

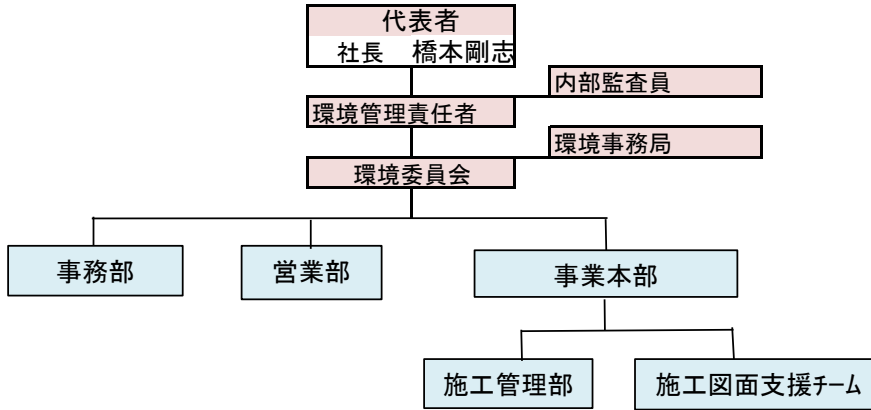


<AED設置による安心安全な街作り>



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2018年12月20日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	22,786	21,429	15,683
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	KG	439	346	315
産業廃棄物排出量	KG	0	840	2,110
総排水量	m ³	68	61	60

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

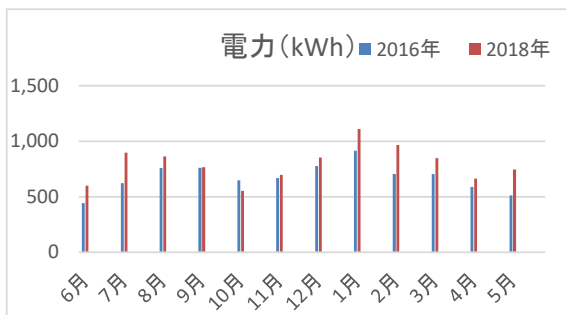
項目	年度	基準値	2018年		評価	2019年	2020年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
		電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,743		3,127	4,160
	基準年度比	2016年	114%	152%	×	113%	112%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	16,503	13,203	11,522	○	13,863	13,698
	基準年度比	2017年	80%	70%		84%	83%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	19,246	16,330	15,682		16,962	16,770
一般廃棄物の削減	kg	489	342	315	○	308	303
	基準年度比	2016年	70%	64%		63%	62%
産業廃棄物の削減	kg	840	832	2,110	×	823	815
	基準年度比	2017年	99%	2.52		98%	97%
水道水の削減	m ³	68	61	60	○	59	58
	基準年度比	2016年	89%	88%		87%	86%
環境に配慮した設計・施工の提案	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

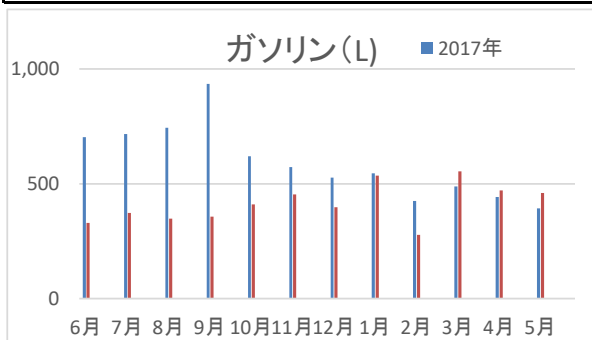
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	使用電力の多い暖房器具の使用時間、ノー残業デーを実施し極力電力の使用量を減らすように努めたが、後半現場増・業務増により、電気の使用量が増えてしまい目標は達成できなかった。来年度は、引き続き節電を意識し、現場増える中でそれを加味した目標値にする。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)		
・不要照明の消灯		
・ノー残業デーの実施		
・共有できる仕事はなるべく個人に任せず、社員同士協力し残業を減らし、事務所の利用時間を削減する。		



< 設定温度 表示 >

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2016年	444	622	759	760	647	669	775	915	704	704	588	512
2018年	598	897	863	767	554	698	853	1,109	967	849	664	745

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	後半にかけて現場が増えた為、月目標に対しては削減できていないが、1年を通して目標達成できている。今年度は電気自動車を購入したことにより、さらにエコについて意識が上がったので導入してとてもよかったと思う。
・アイドリングストップ		
・エコドライブ徹底する		
・近距離の用務には社用車を使用せずに自		



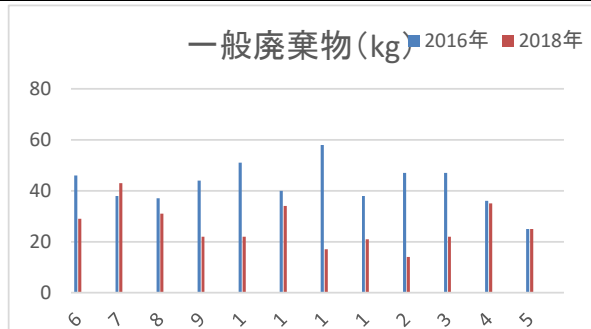
< 電気自動車 >

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年	703	716	744	935	620	573	527	545	425	489	443	393
2018年	330	373	348	357	410	454	397	536	277	554	471	460

軽油使用量

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

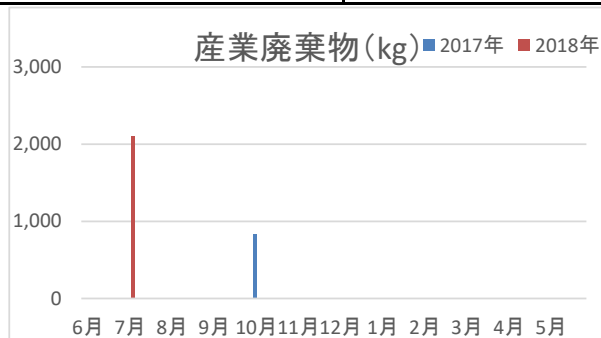
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	業務が増え、紙の使用料が増えてしまったが、印刷前に再度間違いがないかチェックするなど常に無駄のない紙の使用を心掛けている。1年を通しては目標達成できている。来年度も引き続き一般産業廃棄物の削減に努める。
・手拭きタオルの活用により、ハンドペーパー使用を削減する。		
・裏紙を使用する。		
・過去ファイリング書類のデータ化とファ		



＜ペットボトルのキャップを、ゴミとして焼却処分するのではなくリサイクルすることで、焼却処分に伴うCO2の発生を抑制＞

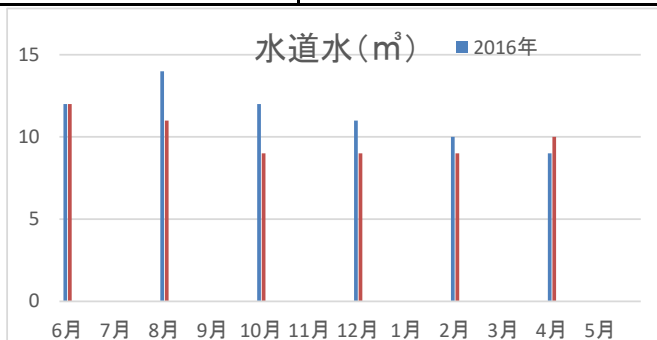
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2016年	46	38	37	44	51	40	58	38	47	47	36	25
2018年	29	43	31	22	22	34	17	21	14	22	35	25

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	元請けの工事の内容により産業廃棄物の量が変わってはくるが、今後元請工事を受注した際に1%リサイクルできるように工事担当者になるものには指示をする。
・分別の徹底		
・リサイクル可能な物は、廃棄せずにリサイクルする。		



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年	0	0	0	0	840	0	0	0	0	0	0	0
2018年	0	2,110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	1年を通しては目標達成することができている。しかし節水を心掛けていたが目標達成ができない月もあったので、来年度は再度節水意識をさらに向上して取り組んでいく。
・トイレに擬音装置取り付け		
・洗濯機利用時の適用水量の徹底		
・節水の徹底		



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2016年	12	0	14	0	12	0	11	0	10	0	9	0
2018年	12	0	11	0	9	0	9	0	9	0	10	0

事務用品の環境配慮	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・よく購入するエコ商品リストを作成して購入に役立てる。	事務用品の購入に対して、まずはエコマークのついている商品はないか確認して購入するように意識した。しかし急ぎのときはその余裕がなくなってしまいますので、リスト化することがやはり大切である。今後もグリーン購入を意識していく。
・詰め替えや補充タイプの商品を使用す	

環境に配慮した設計・施工の提案	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	現在元請になれる現場は、公共工事の落札できた分になるが、公共工事は元々環境に配慮された設計になっていることがほとんどである。そのなかで、より知識を持って提案できるように社員には意見会を開いて役立てるようにしていく。
・元請工事にLED化など省エネ機器の使用提出時に提案する。		
・環境に配慮した施工について、アンケートをとる。		
・元請になれる工事を受注するために、常に入札情報を確認する		



<エコアクション会議>



< 火災訓練の様子 >

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油、廃水銀ランプ等）
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
下水道法	除害施設
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
グリーン調達基準	自治体、元請のグリーン調達基準

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21を取り組んだことにより意識的に電気自動車の導入をした。
 実際に自動車燃料消費率は前年度に対して下がり、結果として満足できたが、一方で電気自動車の充電、物件の受注量が増えたことによる諸雑業務の増加、社員増員により、電力に関しては目標を下回った。しかし売上が前年に対し増えたのも事実であるため全体の環境活動目標に対しての取組成果については部分的には反映されたと判断できる。
 ただ、現場も遠方が増え月1度開催していたエコアクション21明示報告会に関しても実施できない月もあり社員の環境活動に関して認識が低下したのではないかと感じるため、次年度は今一度環境活動に対して社員に教育する時間を作るように指示する。

- | | | | |
|-----------|-------------------------------|------------------------------------------|------------|
| 環境経営方針 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり | 2019年3月20日 |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり | 実績を踏まえて見直す |
| 実施体制 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり | |

< 会社周辺の清掃活動 >

